

平成26年度 東京芸術大学

大学院音楽研究科（修士課程）入学者選抜試験

試験内容及び課題曲

（本冊子はこのページを含めて全23ページ）

※発表した課題曲等の内容について、電話等による問い合わせには応じません。

~~~~~  
声種・楽器等の略記について  
~~~~~

本学では、下記のとおり声種・楽器名を略記することがあるので参考までに記載します。

【 略 記 一 覧 】

専攻・声種・楽器名		略記	専攻・声種・楽器名		略記
作 声 楽	曲	／	器 古 楽	バロック声楽	BVo
	ソ プ ラ ノ	S		バロックヴァイオリン	BVn
	メゾ・ソプラノ	Ms		バロックチェロ	BVc
	ア ル ト	A		リコーダー	Rec
	テ ノ ー ル	T		チェンバロ	Cemb
	バリトン	Br		バロックオルガ	BOrg
	バス	B		フォルテピアノ	FP
器 楽	ピアノ	Pf	指 邦	指揮	／
	オルガン	Org		楽	／
	ヴァイオリン	Vn	音 楽 文 化 学	音楽学	／
	ヴァイオラ	Va		音楽教育	／
	チェロ	Vc		ソルフェージュ	／
	コントラバス	Cb		応用音楽学	／
	ハープ	Hp		音楽文芸	／
	フルート	Fl		音楽音響創造	／
	オーボエ	Ob		芸術環境創造	／
	クラリネット	Cl	●略記について● 1. 原則として2字以内にまとめた。 2. 頭文字は大文字を使い、2文字目は小文字とした。 3. 科目名等は日本語のままとし、声種・楽器名を略記の対象とした。		
	ファゴット	Fg			
	サクソフーン	Sx			
	ホルン	Hr			
	トランペット	Tp			
	トロンボーン	Tb			
	ユーフォニアム	Euph			
金 管 打 室	チューバ	Tu			
	楽器	Pc			
	室内楽	／			

平成26年度「学生募集要項」の配布について

1. 配布時期 7月中旬
2. 配布方法（「募集要項」は無料）
 - （1）本学での配布は、守衛所または音楽学部教務係で行います。
 - （2）郵送による申し込みは、下記の要領で行って下さい。

記

申込用封筒（定型封筒で可）
[90×205mmまたは120×235mm]

〒110-8714	
80円	
切手	
平成26年度募集要項請求	東京芸術大学音楽学部教務係
	台東区上野公園12-8

返信用封筒（角型2号封筒）
[240mm×332mm]

〒〇〇〇-〇〇〇〇	
390円	
切手	
氏名	申込人住所

←
折り込む

※申込用封筒の裏側にも申込人の
住所・氏名を記入すること。

(1) 専攻実技

専攻	研究分野	課題曲等
作曲	◎ 作曲専攻共通注意事項 （作曲、エクリチュール） 下記に定める作品等を 平成26年1月31日(金) 正午までに直接又は郵送により音楽学部教務係に提出のこと。ただし、音楽教育又はソルフェージュの志願者で、作曲（エクリチュールは選択不可）により受験する者の提出期限は、 平成25年8月19日(月) 午後4時までとする。（郵送による場合も上記期限までに教務係に届くように発送のこと）	
	作曲	[入試課題曲（提出作品）] 管弦楽作品（室内管弦楽を除く）およびそれ以外のジャンル（演奏者1～10名まで、声楽を含むも可）の作品各1曲の楽譜を提出する。
	エクリチュール	1. [入試課題曲（提出作品）] 管弦楽作品（室内管弦楽を除く）1曲の楽譜を提出する。 2. 与えられた主題で4声フーガを作曲する。（6時間） 3. ピアノによる数字付きバス、および旋律の和声付け試験（予見10分） 4. 総譜初見視奏

●作曲専攻の試験日程について

本研究科（修士課程）入学試験において、作曲専攻の試験については、全ての試験を2月に行います。

詳細な日程は募集要項にてご確認ください。

専攻	声 種	課 題 曲 等
声 楽	ソ プ ラ ノ(S)	声楽専攻志願者の入学試験は、現在独唱・オペラの区別なく行っている。合格者のうち、オペラ（声楽第5講座）に所属することを希望する者に対して、オペラ適性検査を実施する。オペラ適性検査の実施日時に関しては、最終合格発表以降、対象者に別途通知する。 提出曲 提出用紙の書式に従って原語で記入すること。 第1次試験：下記のA, B, Cより分野を1つ選択し、その中から任意の1曲を提出する。 第2次試験：第1次試験と同一分野から1曲（曲目は重複しないこと）、残る2つの分野から2曲ずつを提出する。 A：モーツァルト以降の作曲家（モーツァルトを含む）によるオペラ作品の独唱曲。（コンサート・アリアを含む） B：オラトリオ、ミサ曲、カンタータ等の宗教的独唱曲。 バロック・オペラ、世俗カンタータ、マドリガーレ等の世俗的独唱曲。 C：歌曲 ※オペラ、オラトリオ等のアリアは原調・原語。歌曲分野についても原語とするが、移調は自由。（慣習的に認められている移調・言語はこの限りではない） 歌唱実技試験 第1次試験：第1次試験の演奏曲として提出した1曲（4分以内）を暗譜で演奏する。 第2次試験：第2次試験の演奏曲として提出した1曲と当日本学が記号（イ, ロ, ハ, ニ）で指定する2曲の計3曲を9分以内（曲間を含む）にまとめて暗譜で演奏する。（各曲、適宜カットしてよい）演奏曲順は自由。 ※第1次試験及び第2次試験ともに、演奏はピアノ伴奏とする。（志願者が伴奏者を同伴すること。）
	メソソプラノ(Ms)	
	ア ル ト(A)	
	テ ノ ー ル(T)	
	バ リ ト ン(Br)	
	バ ス(B)	
		新曲視唱（音大及び音楽関係学部・学科等の出身者を除く） ※上記出身者に該当するかどうか判断できない受験生は、事前に本学音楽学部教務係に問い合わせること。

専攻	研究分野	課題曲等
器楽	ピアノ (P f)	下記の a) 及び b) の区分より、ピアノ独奏用作品を組み合わせた30分以上のプログラムを2種類提出すること。それぞれのプログラムは必ず a) b) 両方の作品を含むこと。 当日各自の抽選によりいずれか一方のプログラムを演奏する。 a) バロックから古典派までの作品 b) ロマン派以降の作品（出版されているものに限る。ただし、内部奏法等を含んだ作品は除く。） (注) 1) 演奏は暗譜とする。 2) 繰り返しは自由とする。 3) a) b) 共、複数曲でも可。 4) ソナタ・変奏曲の抜粋は認めない。 5) 時間の都合により一部を省略させることがある。
	オルガン (O r g)	(A) 課題曲 (1)北ドイツ楽派の大規模な Toccata または Praeludium の中から任意の一曲 (2)J.S.Bach : Triosonate BWV526(c),527(d),529(C),530(G)の中から任意の一曲(全楽章) (3)17~18 世紀のフランスの作曲家による Tierce en taille または Cromorne en taille (4)M. Reger: Introduktion und Passacaglia in f Op.63-5,6 (5)L.Vierne: Pièces de fantaisie op.54 より No.2 Impromptu (6)O.Messiaen: Messe de la Pentecôte より IV.Communion (Les oiseaux et les sources)および V. Sortie (Le vent de l'Esprit) (注) 時間の都合により一部省略させることがある。 ○レジスターのためのアシスタントが必要な者は、所定の用紙に記入し、申し出ること。アシスタントは本学が用意する。 ○試験日以前にレジスタータイムを2回与える。 (B) 即興実技 数字付低音による課題を初見で実施する。 なお、当日5分間の試奏時間を与える。ただし書き込みはできない。 (次ページに続く)

専攻	研究分野	課題曲等
器 楽	オルガン (Organ)	専攻実技試験で使用する奏楽堂オルガンの仕様
		<u>Hauptwerk(I)</u> Principal 16' Prästant 8' Rohrflöte 8' Octav 4' Spitzpfeife 4' Quint 3' Superoctav 2' Mixtur 6-10f. Scharf 5f. Cornet 5f. Trompete 16 Trompete 8' Trompete 4' Vox humana 8' Tremulant Hw Octav 4' Rohrgedackt 4' Violetta 4' Nasat 2 2/3' Flageolet 2' Sesquialter 2f. Mixtur major 5f. Mixtur minor 4f. Fagott 16' Trompete 8' Trompete 4 Oboe 8' Tremulant Sw <u>Pedalwerk</u> Bordun 32' Prästant 16' Subbaß 16' Octavbaß 8' Gedackt 8' Principal 4' Nachthorn 4' Mixtur 6f. Posaunenbaß 32' Posaunenbaß 16' Trompete 8' Trompete 4' Cornet 2' Tremulant Pw
		<u>Brustwerk(III)</u> Portunal 8' Bordun 8' Bw(Sw)/Kw Bw(Sw)/Hw
		<u>Kleinwerk(II)</u> Gedackt 8' Salizional 8' Quintatön 8' Prästant 4' Rohrflöte 4' Nasat 3' Terz 1 3/5' Superoctav 2' Siffelöte 1 1/3' Mixtur 5f. Fagott 16' Dulcian 8' Schalmey 4' Tremulant Kw Prästant 4' Blockflöte 4' Traverso 4' Waldpfeife 2' Terzian 2f. Quintlein 1 1/2' Scharf 4f. Krummhorn 8' Regal 4' Tremulant Bw Kw/Hw Bw(Sw)/Pw Kw/Pw Hw(Mw)/Pw Hw ⇔ Mw Bw ⇔ Sw Nachtigall Assist. II / I - III / I Seq. - / + Zimbelstern Wind Hw
		<u>Mitteltönigwerk(I)</u> Coppel 8' Spitzflöte 4' Principal 2' Quintflöte 1 1/3' Regal 16' Trichterregal 8' Schalmey 4' Baß 8' (<i>Pedal</i>) Tremulant Mw Wind Kw Wind Bw Wind Sw Sw-Speichern
		<u>Schwellwerk(III)</u> Nachthorn 16' Principal 8' Hohlflöte 8' Unda maris 8' Viola da Gamba 8'

専攻	研究分野等	課 題 曲 等
器 楽	弦 楽	◎ 弦楽器共通注意事項 (ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロ・コントラバス・ハープ) ○演奏はすべて暗譜とし、繰り返しは省略する。 ○志願者は、試験当日伴奏者を同伴すること。 ○当日、時間の都合により一部省略させることがある。
		ヴァイオリン (V n) 1. 次のの中から任意の1曲 (全曲) J.S.Bach : Partita for Violin solo No.1 B minor BWV1002 No.2 D minor BWV1004 No.3 E major BWV1006 2. 次のの中から任意の1曲の<u>第1楽章</u> (1) L.v.Beethoven : Concerto D major Op.61 (カデンツァは自由) (2) J.Brahms : Concerto D major Op.77 (カデンツァは自由) (3) F.Mendelssohn : Concerto E minor Op.64
		ヴィオラ (V a) 1. J.S.Bach : Solo Suite No.5 C minor BWV1011 (全曲) 2. 次のの中から任意の1曲 (1) B.Bartók : Concerto (<u>第1楽章</u>) (最後のカデンツァを含む) (シェルイ版、改訂版どちらでも可) (2) W.Walton : Concerto (<u>第1楽章</u>, <u>第2楽章</u>)
		チェロ (V c) 1. J.S.Bach : Solo Suites の中から第4, 5, 6より1曲 (Prélude, Allemande, Courante を演奏すること) 2. 次のの中から任意の1曲 (1) J.Haydn : Concerto D major Op.101 (全楽章、カデンツァを含む) (2) A.Dvořák : Concerto B minor (全楽章) (3) R.Schumann : Concerto A minor (全楽章) (4) E.Elgar : Concerto E minor Op.85 (全楽章) (5) D.Shostakovich : Concerto No.1 Op.107 (全楽章)
		コントラバス (C b) 1. Hans Fryba : A Suite in the Olden Style より Prélude Allemande Gigue 2. 次のの中から任意の1曲 (全楽章) (1) K.D.Dittersdorf : Concerto E major (2) J.B.Vanhal : Concerto D major (3) D.Dragonetti : Concerto A major (4) G.Bottesini : Concerto No.2 B minor (5) S.Koussevitzky : Concerto F sharp minor
		ハープ (H p) 1. 次のの中から任意の1曲 (1) C.P.E.Bach : Sonata F major 又は G major (全楽章、何版にても可) (2) G.F.Händel : Concerto (全楽章) 2. 次のの中から任意の1曲 (1) Fauré : Impromptu (2) Tailleferre : Sonata (全楽章)

専攻	研究分野等	課 題 曲 等
器	管 打 楽 器	◎ 管打楽器共通注意事項 ○志願者でピアノ伴奏を必要とする場合には、試験当日伴奏者を同伴すること。 ○受験生同士の譜めくりは禁止する。 ○出版社の指定のないものは、何版でもよい。
		木 管 フルート (F l) 1. 課題曲 下記より任意の1曲を選択し、演奏すること。 W.A.Mozart : Konzert G-Dur K.313 または D-Dur K.314 より第1及び第2楽章(カデンツァなし) 2. 自由曲 任意の無伴奏現代曲を1曲演奏すること。ただし、時間の都合により試験官の指示で中断されることがある。
		オーボエ (O b) 1. 課題曲 a),b)より任意の1曲を選択し、演奏すること。 a) W.A.Mozart : Konzert C-dur K.314 より第1,2楽章 b) B.Martinů : Concerto より第2,3楽章 (Eschig) 2. 自由選択曲 a)~e)より任意の1曲を選択し、演奏すること。 a) E.Carter : Inner Song (Boosey&Hawkes) b) A.Dorati : Cinq pièces pour le hautbois より第1曲と第5曲 (Boosey&Hawkes) c) H.Holliger : Sonate für Oboe solo より I Präludium と II Capriccio (Schott) d) G.Silverstrini : Six études pour le hautbois より第1曲と第6曲 (Edition du Hautbois) e) I.Yun : Piri oboe solo (Bote&Bock)
		クラリネット (C l) 1. 課題曲 W.A.Mozart : Konzert A-Dur K.622 より 第1,2楽章 2. 自由曲 (任意による1曲)
		ファゴット (F g) 1. 課題曲 W.A.Mozart : Konzert B-Dur K.191(186e)(カデンツァなし) 2. 自由曲 (任意による1曲)
		サクソフォーン (S x) 1. 課題曲 J.Ibert : Concertino da Camera 2. 自由曲 (任意による1曲)
		金 管 ホルン (H r) 1. 課題曲 W.A.Mozart : Konzert Nr.2 Es-Dur K.417 2. 自由選択曲 a)~c)より任意の1曲を選択し、演奏すること。 a) R.Strauss : Konzert Nr.1 Es-Dur Op.11 b) Hermann Neuling : Bagatelle für tiefes Horn und Klavier c) R.Schumann : Adagio und Allegro Op.70
		トランペット (T p) 1. 課題曲 H.Tomasi : Concerto 第1楽章 (カデンツァを含む) 2. 自由選択曲 a)~c)より任意の1曲を選択し、演奏すること。 a) J.W.Hertel : Concerto No.3 in D 第1,2楽章 b) G.Ph.Teleman : Concerto in D 第1曲(Adagio)と第4曲(Allegro) c) L.Mozart : Concerto in D 全楽章
		トロンボーン (T b) テナートロンボーン 1. 課題曲 F.Martin : Ballade(Universal Edition) G.Ch.Wagenseil : Concerto *(Universal Edition) *アルトトロンボーンで演奏すること。カデンツァは自作創作も含め自由。 2. 自由曲なし バストロンボーン 1. 課題曲 T.Albinoni : Sonate en Ré majeur adaptée pour Trombone basse et piano (Gérard Billaudot) 2. 自由曲 (任意による1曲)
		ユーフォニウム (E u p h) 1. 課題曲 J.Horovitz : Euphonium Concerto (Novello) 2. 自由曲 (任意による1曲)
		チューバ (T u) 1. 課題曲 K.Penderecki : Capriccio R.Vaughan Williams : Concerto for Bass Tuba and Orchestra (Oxford University Press) 2. 自由曲なし
		打 楽 器 (P c) 1. 課題曲 F.Dupin : Myriades (Alphonse Leduc) 2. 自由曲 (任意による1曲)

[illegible]

専攻	研究分野等	課 題 曲 等
器	室	② ヴィオラとピアノの二重奏 A 群 Hummel : Sonate für Viola und Klavier Es-dur Schubert : Sonate für Klavier und Arpeggione a-moll D821 Ausgabe für Viola Schumann : Marchenbilder Op.113 B 群 Bowen : Sonate für Viola und Klavier No.1 Op.18 R.Clarke : Sonate für Viola und Klavier Hindemith : Sonate für Viola und Klavier Op.11-4 Hindemith : Sonate für Viola und Klavier,1939 Shostakovich : Sonate für Viola und Klavier Op.147 C 群 A, B 群の作曲家以外のヴィオラとピアノのための二重奏作品。
	内	③ チェロとピアノの二重奏 A 群 Beethoven : Sonaten für Klavier und Violoncello (全5曲) B 群 Shostakovich : Sonate für Violoncello und Klavier d-moll Op.40 Prokofiev : Sonate für Violoncello und Klavier Op.119 Fauré : Sonate pour violoncelle et piano No.1 Op.109 Sonate pour violoncelle et piano No.2 Op.117 Britten : Sonata for cello and piano Op.65 Poulenc : Sonate pour violoncelle et piano C 群 A, B 群の作曲家以外のチェロとピアノのための二重奏作品。
楽	楽	二重奏 ピアノとヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ
		Ⅱ 個人で受験する場合 各楽器とも下記の1. 2. 3. を演奏する。 1. の課題は暗譜とする。 ① ピアノ 1. 下記 a および b の2曲 a)L.v.Beethoven : Klaviersonate Nr.3 Op.2-3 C-dur, Klaviersonate Nr.4 Op.7 よりいずれか1曲 (全楽章) b)F.Chopin : Etude Op.10,Op.25 から任意の1曲 (但し Op.10-3,6,Op.25-7 を除く) 2. 前記のグループ受験課題曲 A 群の中から任意の1曲 3. B 群から任意の1曲 ② ヴァイオリン 1. J.S.Bach : Partita BWV1002, 1004, 1006 の中から任意の1曲 2. 前記のグループ受験課題曲 A 群の中から任意の1曲 3. B 群から任意の1曲 ③ ヴィオラ 1. Reger : 3 Suiten für Viola Op.131d より、組曲第3番の第1楽章 2. 前記のグループ受験課題曲 A 群の中から任意の1曲 3. B 群から任意の1曲 ④ チェロ 1. J.S.Bach : Solo Suiten の中から任意のプレリュード1曲 2. 前記のグループ受験課題曲 A 群の中から任意の1曲 3. B 群から任意の1曲

専攻	研究分野等	課題曲等
器楽	室内 二重奏 ピアノとフルート	グループ受験の課題曲は下記の3曲とする。 1. Schubert : Introdution und Variationen über ihr Blümlein alle Op.160 D.802 2. Prokofiev : Sonate für Flöte und Klavier Op.94 D-Dur 3. Isang Yun : "Garak" for flute and piano (個人での受験は認めない)
	内 木管五重奏	グループ受験の課題曲は下記のとおりとする。 1. György Ligeti : Sechs Bagatellen für Bläserquintett (Schott 版) 2. A・B 群より各々 1 曲ずつ演奏すること。 A 群 Franz Danzi : Bläserquintett B-dur Op.56 Nr.1 Anton Reicha : Bläserquintett Es-dur Op.88 Nr.2 Joseph Haydn : Divertimento B-dur ("Chorale St.Antoni" 付き) Paul Taffanel : Quintette à vent en sol mineur B 群 Paul Hindemith : Kleine Kammermusik Op.24 Nr.2 Jacques Ibert : Trois Pièces Brèves Darius Milhaud : La Cheminée du Roi René Jean Françaix : Quintette (個人での受験は認めない)

専攻	研究分野等	課 題 曲 等
器 		

専攻	研究分野等	課 題 曲 等
器 楽	古 楽	バロック チェロ (B V c) 1. 次の1)～3)を演奏する。 1) 当日指定する調で3オクターヴのスケールを演奏する。 テンポは自由、1弓6音または8音、短調は和声的短音階とする。 最低音のC以外開放弦を用いない指遣いで弾くこと。 2) F.Geminiani : Sonata op.5-6 in A minor 3) J.S. Bach : Suite a violoncello solo senza basso no. 4 Prelude, Courante, Gigue 〔演奏する曲順、基準とするピッチ、楽器(モダン仕様かバロック仕様か)、 弓のスタイルは問わないが、ガット弦を使用すること。2)に関しては チェンバロの伴奏を用意すること。2)の版はPeters版またはS.P.E.S (1746年デン・ハーグの版)、3)の版はBärenreiter(2000年出版)、 Breitkopf(2000年)、東京書籍(2009年)のいずれかを使用すること。〕 2. 当日与える通奏低音の課題をチェンバロで実施する。(予見時間5分)
		リコーダー (R e c) 1. 次の各作品を演奏する。 1) Aurelio Virgiliano : "IL DOLCIMELO"より 任意のリチュエルカータ1曲 〔ルネサンスまたは初期バロックタイプのリコーダーを使用。 管の種類及びピッチ、移調は自由。〕 2) Jacques Martin Hotteterre : Suite 2 (Oeuvre Second 1715) 全楽章 〔ヴォイス・フルート使用の場合は原調、トレブル・リコーダー使用の 場合は変ロ長調に移調して演奏すること。ピッチはa' = 415〕 3) J.S.Bach : Partita イ短調 BWV1013 より Allemande, Corrente 〔ヴォイス・フルート使用の場合は原調、トレブル使用の場合は ハ短調に移調して演奏、ピッチは指定しない〕 4) Antonio Vivaldi : 協奏曲ハ長調 RV443 全楽章 〔バロックタイプのソプラニーノを使用。ピッチはa'=415〕 2. 当日与える通奏低音の課題をチェンバロで実施する。(予見時間5分)
		チェンバロ (C e m b) 1. 次の1)～4)の各作品を演奏する。 1) G.Frescobaldi と W.Byrd の作品を組み合わせる(必ず両方の作曲家 の作品を含むこと) 10～12分のプログラムを組む。 2) J.S.Bach: Präludium und Fuge a-moll BWV 894 3) J.-H. d'Anglebert: Premiere Suite Sol majeur から以下の5曲を 演奏する。 Prélude, Allemande, 2e. Courante, Sarabande, Gigue 4) C.B.Balbastre: La Suzanne 2. 当日与える通奏低音と旋律楽器(または声楽)のためのアンサンブル 作品を演奏する。(予見打ち合わせ時間5分)
		バロック オルガン (B O r g) 1. 次の1)～5)の各作品を演奏する。 1) G.Frescobaldi: Capriccio sopra La Bassa Fiamenga (※ Mitteltönigwerk を使用すること) 2) J.P.Sweelinck: Hexachord Fantasia (Ut re mi fa sol la) 3) N.de.Grigny: Pange Lingua (全3楽章) 4) D.Buxtehude: Praeludium in fis BuxWV 146 5) J.S.Bach の6つのトリオソナタ BWV 525-530 から任意の1曲を 選び、その全楽章を演奏する。 2. 当日与える通奏低音と旋律楽器(または声楽)のためのアンサンブル 作品をポジティブオルガンにて演奏する。(予見打ち合わせ時間5分)

専攻	研究分野等	課 題 曲 等
器 楽	古 楽 フォルテ ピアノ (FP)	1. 次の各作品（計3曲）を演奏する。 1) W.A.Mozart : Rondo a-moll K.511（繰り返しは省略） 2) 次のどちらか任意の1曲 イ) J.Haydn : Klaviersonate e-moll Hob.XVI:34 (1楽章および2楽章の繰り返しは省略。3楽章の繰り返しは任意) ロ) J.Haydn : Klaviersonate Es-dur Hob.XVI:52 (全楽章とも繰り返しは省略。) 3) 次のどちらか任意の1曲 イ) L.Kozeluch : Klaviersonate g-moll Op.15-1 (1楽章の繰り返しは省略) ロ) M.Clementi : Klaviersonate f-moll Op.13-6 (1楽章および3楽章の繰り返しは省略) 2. チェンバロにて次の作品を演奏する。 J.J.Froberger : Partita (Suite) I FbWV 601 より Allemand [前半の繰り返しはあり、後半は繰り返しなしで演奏すること。] 3. 当日与える通奏低音の課題をチェンバロまたはフォルテピアノで実施する。(予見時間5分)

【予告】

平成27年度入試より、バロックチェロ専攻の入試課題曲の中に、以下のアンサンブル課題が加わります。

《バロックチェロ アンサンブル課題》

課題曲発表時に指定した作品（例えば、Corelli: Op.5より Sonata No.4 第1楽章 Adagio 及び第2楽章 Allegro）の通奏低音パートを、本校の用意したソロ奏者（例えばバロックヴァイオリン奏者）と、受験生の用意したチェンバロ奏者とともに演奏する。当日10分程度のリハーサル時間が与えられる。なお、演奏ピッチ（a'=415または442）については受験生が選択したソロ作品のピッチに順ずるものとする。

専攻	研究分野等	課 題 曲 等
指 揮		1. 指揮実技（合奏による） (1) 総譜初見指揮 (2) 課題曲…以下の課題の指揮をする。 Jean Sibelius : Ton-poem 'Finlandia' op. 26 全曲の中から部分を指定して指揮をさせる。 2. 指揮適性検査 (1) スコアリーディング (2) 聴音 (3) ピアノ以外の器楽実技（自由曲・伴奏なし） (4) 音楽一般に関する試問 3. ピアノ 課題曲…全曲の中から部分を指定して演奏させる。 Ludwig van Beethoven : Sonate für Klavier Nr.17 op.31-2 ("Tempest")

専攻	研究分野等	課 題 曲 等
邦	邦楽共通注意事項 ○受験者に対し、試験の際、邦楽全般又はその専門に関する簡単な口述試問を行う。 ○受験者は、志願する部門に応じて下記の課題曲を暗譜で演奏すること。ただし、長唄受験者は、歌詞のみ唄本を用いてもよい。	
	三 味 線 音 楽	長唄三味線 「時雨西行」(二世杵屋勝三郎作曲)
		常磐津三味線 「関の扉 (下)」(宝田寿来作詞・二世岸澤式佐作曲)
		清元三味線 「四季三葉草」(二世清元斎兵衛作曲)
		長唄 「時雨西行」(二世杵屋勝三郎作曲)
		常磐津 「関の扉 (下)」(宝田寿来作詞・二世岸澤式佐作曲)
		清元 「四季三葉草」(二世清元斎兵衛作曲)
	(注) 長唄三味線・常磐津三味線・清元三味線の受験者は、各自使用する楽器を持参する。	
	箏	山 田 流 箏・箏歌 「住 吉」(山田検校 作曲) 三絃・歌 「住 吉」(山田検校 作曲) (注) 箏・三絃は原則として各自持参の楽器を使用する。ただし、本学で用意した箏(テトロン糸)・三絃の使用も可能。なお、出願の際、願書の所定欄に持参・借用の別を記入すること。
		生 田 流 箏 「今 小 町」(菊岡検校 作曲・八重崎検校 箏手付) 「吼 噓」(岸野治郎三 作曲・宮城道雄 箏手付) 三絃 「青 柳」(石川勾当 作曲) (注) 箏は本学で用意した楽器(テトロン糸)を使用する。三絃は原則として各自持参の楽器を使用するが、本学で用意した楽器を使用することもできる。なお、出願の際、願書の所定欄に三絃の持参・借用の別を記入すること。
尺 八	琴古流による受験者…… 1. 「真虚霊」 (初世黒沢琴古編曲) 2. 「虚空鈴慕」(同上) 3. 「鹿の遠音」(同上) 都山流による受験者…… 1. 「岩清水」 (流祖中尾都山作曲) 2. 「峰の月」 (同上) 3. 「懐月調」 (同上) ○上記各3曲の中から2曲を選び、演奏する。 ○五孔尺八の一尺八寸管(竹製)を用いること。 ○琴古流による受験者は三浦琴童譜、都山流による受験者は都山流尺八楽会公刊譜によること。 共通曲…………… 1. 「須磨の嵐」(山登萬和作曲) 2. 「御山獅子」(菊岡検校作曲) ○上記2曲の中から1曲を選び、合奏にて演奏する。 ○五孔尺八の一尺八寸管(竹製)を用いること。 ○琴古流による受験者は竹友社発行譜、都山流による受験者は都山流尺八楽会公刊譜を使用すること。 ○共通曲の伴奏者(箏・三絃)については本学にて用意する。 ※出願の際は、所定の用紙(受験曲目提出用紙)に必要事項を記入の上提出すること。	

専攻	研究分野等	課 題 曲 等
邦 楽	能 楽	観世流または宝生流による受験者……謡曲独吟「花筐クセ」及び仕舞「花筐クルイ」 ワキ方宝生流による受験者……謡曲独吟「花筐クルイ」及び仕舞「春栄」 和泉流による受験者……小謡独吟「名取川」及び小舞「海老救川」
	能 楽 囃 子	(イ) 笛……「楽」または「神楽」 (ロ) 小鼓……囃子「野宮」〈如何なる車ヨリ〉 (ハ) 大鼓……囃子「野宮」〈如何なる車ヨリ〉 (ニ) 太鼓……「楽」または「神楽」 ※出願の際は、所定の用紙（「受験曲目提出用紙」）に必要事項を記入の上提出のこと。
	邦 楽 囃 子	1. 「船弁慶」（二世杵屋勝三郎作曲）（太鼓・大鼓・小鼓）より任意の楽器を選択。 2. 「英執着獅子」（笛）（初世杵屋弥三郎作曲） 3. 各専攻楽器による五線譜初見試奏 注1） 3 以外は暗譜で演奏すること。 2） 1， 2 の伴奏者（長唄、三味線）は本学係員が担当する。 3） 受験者は、各自使用する楽器を持参すること。 ※出願の際は、所定の用紙（「受験曲目提出用紙」）に必要事項を記入の上提出のこと。 （注） 前年度まで課していた「副科長唄又は長唄三味線（自由曲）」課題は今年度入学試験より廃止します。
邦 楽	日 本 舞 踊	1. 男踊り 清元「北州」 2. 女踊り 長唄「京鹿子娘道成寺」 本学の用意したテープで両曲とも全曲を踊る。 注1） 録音テープは、清元はビクター版・清元志寿太夫全集による演奏を、長唄はコロムビア版『日本舞踊吾妻流試験課題曲』より芳村伊十郎による演奏を使用する。 2） 両曲ともに小道具は用いず、扇子及び手拭いをもって代用すること。

専攻	研究分野	課 題 曲 等
音 楽 文 化 学	音 楽 学	1. 専攻論文 試験時間：2時間 各自の専攻テーマについて論じる。 2. 音楽学 試験時間：2時間 音楽美学、音楽理論、西洋音楽史、日本・東洋音楽史、音楽民族学の5部門から2部門を選んで受験する。 3. 口述試験
	音 楽 教 育	1. 小論文 試験時間：2時間 2. 口述試験 3. 「楽器等の実技試験」または「音楽学の筆記試験」 作曲、声楽、器楽、指揮、邦楽の各専攻で課されている「楽器等の実技試験」または、音楽文化学専攻音楽学研究分野において課されている「音楽学の筆記試験」のいずれか一つを選択し受験する。ただし、器楽専攻室内楽研究分野で課されている楽器実技は本試験において選択できない。 なお、声楽により受験する者は、声楽専攻実技試験第1回のみ受験すること。また、ピアノにより受験する者は次の課題曲を演奏すること。 ●ピアノ受験者の課題曲 1) Haydn, Mozart, Beethoven のピアノソナタより任意の曲1曲（全楽章）及び 2) Chopin の練習曲 Op. 10及び Op. 25より任意の曲3曲 (注) 1) 繰り返しは省く。 2) 演奏は暗譜とする。 3) 演奏の一部分を省略することがある。 4) 本学所定の受験曲目提出用紙を提出すること。
	ソルフェージュ	1. ソルフェージュ試験 (1) ソルフェージュ実技試験 a. ピアノによる聴音書取（単旋律、複旋律、四声体和声） b. 各種音部記号（ト音記号、ヘ音記号、ハ音記号）による初見唱 c. 初見奏 『「楽器等の実技試験」または「音楽学の筆記試験」』において選択した楽器による初見奏とする。ただし、声楽専攻受験者は「ト音譜表による初見唱」とし、作曲、指揮、邦楽の各専攻及び音楽学研究分野受験者は「ピアノによる初見奏」とする。 d. 和声課題（「楽器等の実技試験」の作曲受験者は免除） バスおよびソプラノ課題による四声体和声。 (2) ピアノ実技試験（「楽器等の実技試験」のピアノ受験者は免除） 課題曲：10分前後のピアノ作品を任意に選択し、暗譜で演奏する。一部を指定して演奏させることもある。 2. 記述試験 ソルフェージュ専攻分野に関わるテーマを課した小論文 文字数：800字 試験時間：1時間30分 3. 口述試験 4. 「楽器等の実技試験」または「音楽学の筆記試験」 作曲、声楽、器楽、指揮、邦楽の各専攻で課されている「楽器等の実技試験」または、音楽文化学専攻音楽学研究分野において課されている「音楽学の筆記試験」のいずれか一つを選択し受験する。ただし、器楽専攻室内楽研究分野で課されている楽器実技は本試験において選択できない。 なお、声楽により受験する者は、声楽専攻実技試験第1回のみ受験すること。また、ピアノにより受験する者は次の課題曲を演奏すること。 ●ピアノ受験者の課題曲 1) Haydn, Mozart, Beethoven のピアノソナタより任意の曲1曲（全楽章）及び 2) Chopin の練習曲 Op. 10及び Op. 25より任意の曲3曲 (注) 1) 繰り返しは省く。 2) 演奏は暗譜とする。 3) 演奏の一部分を省略することがある。 4) 本学所定の受験曲目提出用紙を提出すること。

専攻	研究分野	課 題 曲 等
音 楽 文 化 学	応 用 音 楽 学	1. 小論文 2. 1次口述試問 1次試問では主に研究計画に即した試問を行う。研究テーマによっては楽器の演奏による自己アピールやパネルを用いたプレゼンテーションなどを認める。各自の判断で楽器やパネルを用意すること。ただし、準備・実演に長時間を要するものは認められない（準備も含めて5分程度である）。 試験場にはピアノが置かれている。アンプ等を必要とする電子楽器・電気楽器は原則として認められない。 一般的なオーディオ機器（CD、カセット、ビデオ）は用意されている。また、ポータブルコンピューターを持参してのプレゼンテーションは可能だが、機器についてのサポートは一切あたえられないので、すべて自己責任にて用意すること。 かならずしも実演を行わなければならないということではない。 3. 2次口述試問 ※願書提出の際「研究計画書」・「志望理由書」を提出しなければならない。
	音 楽 文 芸	1. 専攻論文 試験時間：2時間 2. 小論文 試験時間：2時間 3. 口述試問 口述試問では、願書と一緒に提出された研究計画書を参考資料として、主に研究計画についての試問を行う。したがって研究計画書には、(1)音楽文芸を志望した理由、これまでの研究・活動歴、現段階で興味を持っているテーマについて、(2)修士課程在籍中の2年間における研究計画、修士論文について現時点で想定し得るテーマ・素材を、各々800字以内で具体的に書いておくこと。

専攻	研究分野	課 題 曲 等
音 楽 文 化 学	音楽音響創造	1. 聴試試験 (1) 音楽を聴いて、編成や楽譜との相違などを解答する。 (2) 2種類の音を聴いて、音の大きさや音色の違いなど音響的な特徴について解答する。 (3) 音楽を聴いて感じたことを、設問にそって自由に記述する。 2. 記述試験 (1) 音楽に関する記述問題(楽典、楽器、人物などについての設問) (2) 音響に関する記述問題(用語、音響学の基本事項についての設問) ※試験時間は、「聴試試験」、「記述試験」合わせて3時間とする。 3. 口述試験 主に、提出された「研究計画書」、「作品または論考」に即した試問を行う。質疑応答を含め1人20分程度で実施する。 ※ 受験者全員願書提出時に(A)「研究計画書」及び(B)「作品あるいは論考」を提出すること。なお、「研究計画書」は、願書と同封の上提出すること。また「作品あるいは論考」は、願書とは別の封筒を使用し、速達書留郵便により提出すること。送り先は「本学部教務係」とし、封筒表に「音楽音響創造入試『作品(または論考)』在中」と大きく明記すること。提出は、出願期間内に行うものとし、同期間内の消印のあるものを受理する。 (A)「研究計画書」について 本学所定の様式を使用し、入学後の研究計画を1200～1600字で具体的に記述すること。 (B)「作品あるいは論考」について 下記(1)、(2)、(3)のいずれかを提出すること。(返却しない) (1) 音楽作品の創作技法を評価の対象として希望する場合 録音された自作品2～3点(*)とその楽譜または解説。 (1作品につきA4用紙4枚以内、公開された作品の場合は、公開の年月日、場所、演奏者や機材のシステムなどのデータを記入すること) (2) 録音技術を評価の対象として希望する場合 既存の曲(オリジナル作品も可)を自ら録音した作品(5～10分程度)1～2点(*)と、それについての解説。(1作品につきA4用紙4枚以内、録音、ミキシングに関する詳しいデータを記入すること)。 (3) 音楽や音響の研究を評価の対象として希望する場合 音楽・音響に関する日本語による論考(本文4000字程度、形式は自由) (*) 音のみの作品の場合はCD-R、DVD-R、Blu-rayで、映像をともなう場合はDVD-R、Blu-rayで提出する。また、再生にあたって特別な注意を要するときには、それについても解説に記入すること。作品(メディア)と楽譜または解説は、各作品ごとに氏名と題名を書いた封筒に入れること。

専攻	研究分野	課 題 曲 等
音 楽 文 化 学	芸術環境創造	1. 記述試験（試験時間2時間） 芸術運営、舞台芸術、文化研究に関する記述試験。（各分野から2問ずつ計6題出題される設問のうち、3問を選択して解答する） 2. 口述試問 主に、提出された「研究計画書」、「作品または論考」に即した試問を行う。質疑応答を含め1人20分程度で実施する。 ※ 受験者全員願書提出時に（A）「研究計画書」及び（B）「作品あるいは論考」を提出すること。なお、「研究計画書」は、願書と同封の上提出すること。また「作品あるいは論考」は、願書とは別の封筒を使用し、速達書留郵便により提出すること。送り先は「本学部教務係」とし、封筒表に「芸術環境創造入試『作品（または論考）』在中」と大きく明記すること。提出は、出願期間内に行うものとし、同期間内の消印のあるものを受理する。 （A）「研究計画書」について 本学所定の様式を使用し、入学後の研究計画を1200～1600字で具体的に記述すること。 （B）「作品あるいは論考」について 下記の(1)、(2)のいずれかを提出する。（返却しない） (1) 研究成果、活動歴を示すもの（400字以内の概要を含む） 作品（映像、戯曲、批評）1～2点、作品の記録（コンサート、展覧会、パフォーマンス、舞台作品の記録など） * 音楽作品は CD-R、DVD-R、Blu-ray で、映像作品は DVD-R、Blu-ray で提出する。 * 戯曲、批評は形式を問わない。 (2) これまで研究した芸術環境創造に関する日本語による論考（4000字程度）

(2) 音楽に関する基礎能力検査

①「基礎能力検査」受験対象者及び試験内容

他大学出身者（本学出身者を除く）のうち以下に指定する研究分野等の受験者には、以下の通り「基礎能力検査」を課する。

	受験対象者	基礎能力検査科目及び試験内容
研究分野	楽 器 名 等	
作曲 独唱 オペラ ピアノ 木管 弦楽 管打楽 室内楽 古楽 指揮		実施しない
三 味 線 音 楽	長唄三味線	「長唄」実技（専攻実技試験に引き続き行う。） 課題曲：「老松」（四代目杵屋六三郎作曲）
	常磐津三味線	「常磐津」実技（専攻実技試験に引き続き行う。） 課題曲：「将門」（宝田寿助作詞、五世岸沢式佐作曲）
	清元三味線	「清元」実技（専攻実技試験に引き続き行う。） 課題曲：「北州」（大田蜀山作詞、川口直作曲）
	長 唄	「長唄三味線」実技（専攻実技試験に引き続き行う。） 課題曲：「老松」（四代目杵屋六三郎作曲）
	常磐津	「常磐津三味線」実技（専攻実技試験に引き続き行う。） 課題曲：「将門」（宝田寿助作詞、五世岸沢式佐作曲）
	清 元	「清元三味線」実技（専攻実技試験に引き続き行う。） 課題曲：「北州」（大田蜀山作詞、川口直作曲）
箏 曲	山田流	「口述試問」（志望理由及び山田流箏曲の専門知識についての審査）
	生田流	「箏曲音楽理論」（楽器〈箏・十七絃・三絃〉及びそれらの取扱い、調絃、楽譜、演奏法、唱歌、歌唱法など歴史を除く生田流箏曲全般にわたるものの中から出題される。）
尺 八		「箏」または「三絃」実技（専攻実技試験に引き続き行う。） （自由曲とする。） ＊演奏する曲目名等を本学所定の受験曲目提出用紙に記入し、出願時に提出しなければならない。
能 楽		「能楽囃子」実技（専攻実技試験に引き続き行う。） （四拍子より1楽器を演奏する。自由曲とする。） ＊演奏する曲目名等を本学所定の受験曲目提出用紙に記入し、出願時に提出しなければならない。
能 楽 囃 子		専攻以外の四拍子より1楽器・謡曲を演奏する。（専攻実技試験に引き続き行う。） （自由曲とする。） ＊演奏する曲目名等を本学所定の受験曲目提出用紙に記入し、出願時に提出しなければならない。
邦 楽 囃 子		専攻以外の四拍子より1楽器を演奏する。（専攻実技試験に引き続き行う。） （自由曲とする。） ＊演奏する曲目名等を本学所定の受験曲目提出用紙に記入し、出願時に提出しなければならない。
日 本 舞 踊		次の中から1つを選択し受験すること。 1. 長唄三味線：「五郎時致」（十代目杵屋六左衛門作曲） 2. 常磐津三味線：「松島」（河竹黙阿弥作詞、六代目岸沢式佐作曲） 3. 清元三味線：「四君子」（鎌田徳之助作詞、二世清元梅吉作曲） 4. 長唄：「五郎時致」（十代目杵屋六左衛門作曲） 5. 常磐津：「松島」（河竹黙阿弥作詞、六代目岸沢式佐作曲） 6. 清元：「四君子」（鎌田徳之助作詞、二世清元梅吉作曲） 7. 邦楽囃子（四拍子より1楽器を選択）：「五郎時致」（十代目杵屋六左衛門作曲） ＊演奏する曲目名等を本学所定の受験曲目提出用紙に記入し、出願時に提出しなければならない。

(次ページに続く)

受験対象者		基礎能力検査科目及び試験内容
研究分野	楽 器 名 等	
音楽学	音楽美学 西洋音楽史	ピアノ、聴音、初見唱、楽典
	音楽民族学 日本・東洋音楽史	実施しない
音楽教育	「楽器等の実技試験または音楽学の筆記試験」において「邦楽」を選択しなかった者	ピアノ（ピアノ専攻を除く）、聴音、初見唱、楽典（作曲専攻除く）
	「楽器等の実技試験または音楽学の筆記試験」において「邦楽」を選択した者	本表、三味線音楽、箏曲、尺八、能楽、能楽囃子、邦楽囃子および日本舞踊各研究分野の項記載の通り実施する。
ソルフェージュ	「楽器等の実技試験または音楽学の筆記試験」において「邦楽」を選択しなかった者	実施しない
	「楽器等の実技試験または音楽学の筆記試験」において「邦楽」を選択した者	本表、三味線音楽、箏曲、尺八、能楽、能楽囃子、邦楽囃子および日本舞踊各研究分野の項記載の通り実施する。
応用音楽学		実施しない
音楽文芸		実施しない
音楽音響創造		実施しない
芸術環境創造		実施しない

②基礎能力検査科目「ピアノ・聴音・初見唱・楽典」の試験内容

基礎能力検査科目	試 験 内 容
ピ ア ノ	ハイドン、またはモーツァルトのソナタより1曲を選択し、任意の楽章を演奏する。 （注） 1）繰り返しは除く。 2）楽譜を見ても良い。 3）当日、時間の都合により一部を省略させることがある。 4）本学所定の受験曲目提出用紙を提出すること。
聴 音	後掲例題の程度のもの
初 見 唱	後掲例題の程度のもの
楽 典	試験時間 1 時間

基礎能力検査（聴音・初見唱）

例 題

● 聴音書き取り

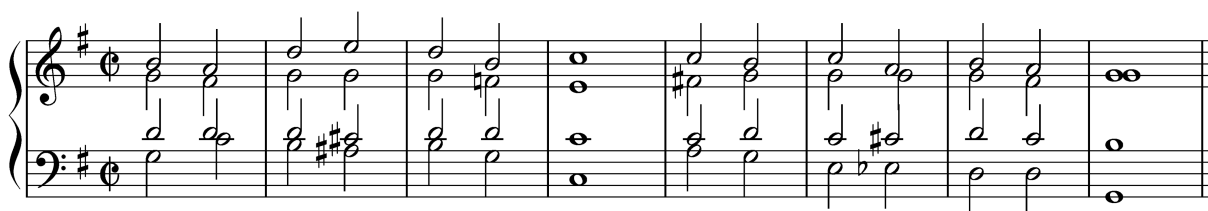
1) 単旋律



2) 複旋律



3) 四声体和声



● 初見唱

